

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1707回例会

令和4年4月14日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長 (金田昇ガバナー補佐、卓話ありがとうございました。素晴らしいIM、これ以上の設営を数年後の地区大会で見せて下さい。)
- 須藤正樹幹事 (IM本当にお疲れ様でした。金田ガバナー補佐、卓話ありがとうございます。)
- 金田昇会員 (過日の県南分区IMと親睦ゴルフコンペは成功裏に終わりました。ありがとうございました。)
- 居川孝男会員 (無事IMが成功したのは、金田さん、吉田さん、そしてメンバー全員の力のおかげですネ！ありがとうございました。4月11日に40回目の結婚記念日を迎える事が出来ました。妻に感謝です。)
- 成井正之会員 (先日のIMそして分区交流コンペに多数の会員皆様にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。お陰様で素晴らしいコンペを行うことができました。)
- 永野文雄会員 (IMの大成功をお祝いいたします。金田ガバナー補佐、卓話ありがとうございます。)
- 佐藤幸彦会員 (IMゴルフコンペで準優勝、西クラブ内では、優勝させて頂きました。パーティ3ヶ、パー6ヶと、グランドエキシブ那須白河での自己ベストでした。設営並びに参加された皆様、お疲れ様でした。)
- 関谷亮一会員 (IM開催成功おめでとうございます。金田ガバナー補佐、鈴木会長、吉田実行委員長始め関係皆様ご苦勞様でした。誕生祝ありがとうございました。感謝致します。)
- 嶋島三夫会員 (金田県南分区ガバナー補佐、無事インターシティミーティング終了ですね。スマイルします。また、誕生のお祝い、ありがとうございました。)
- 十文字光伸会員 (先週は誕生祝いのプレゼントありがとうございました。又、新会員セミナーに参加させて頂きましたので、新たな気持ちで、活動させて頂きます。)
- 高島裕会員 (過日開催されましたIMの大成功は大変うれしいものでした。県南分区ガバナー補佐金田様ありがとうございました。西ロータリークラブならではのまとまりを感じる事が出来ました。)

▶第1707回例会出席状況 (R4年4月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	23名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	13名
Ⓕ ②の出席者数	13名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	49名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	64
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	76.6%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。本日もIM疲れが残る中、例会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。まず最初に、週末に行われましたインターシティミーティングには、沢山の会員の皆様の参加とお手伝いをいただき、本当に大成功を収めることができました。金田昇ガバナー補佐をホストクラブとして、しっかりサポートすることができたと思っています。吉田IM実行委員長を始め、会員の皆様へ改めて感謝申し上げます。遡れば、IMの開催は当初の予定から延期になりまして、その間も実行委員会の皆様、連日の綿密な準備で大変な忙しいことだったと思いますが、ご参加いただきました志賀ガバナーをはじめとした地区の役員の皆様、そして県南分区の皆さんやコザクラブ・深谷ノースロータリークラブの姉妹クラブの皆さんも本当に喜んでいただけただけで、コロナ禍の非常に微妙な時期ではありませんでした。昨日福島県は過去2番目の693人。今日は700人も感染者が増えたということで、そういう状況ですが本当に開催できて良かったと思っています。そして、今になっても参加していただいた方から、コロナが発症したとの噂話も聞きませんので、一番恐れていましたIMクラスターというのも回避できたのかなと思って、ホッとしているところでございます。翌日のゴルフコンペも、半袖でいいほどの素晴らしい天気にも恵まれて、本当に盛大に盛り上がりました。私につきましても、ちょっと人一倍盛り上がってしまっていて、思いっきりスイングを満喫させていただいて、ここ数年のワーストというふうな記録でしたが、楽しいゴルフコンペとなりました。次回のIMを主催しますのは須賀川ぼたんロータリークラブであります。かなりプレッシャーに感じているんじゃないかと思っています。それは私が昨年、吉野会長から会長を受ける時の気持ちに本当に似ておまして、それ以上にプレッシャーを感じているのかと思います。そういった意味で、来年のIMも今から楽しみだと思っています。IMの中で会長幹事会が開催されて、その後の議題で例年の例会の開催の状況についての説明というのをしてくださというふうな話がありました。昨年に引き続き、このようなコロナ禍の状況が依然と続く中で、概ねやはり予想どおり例会だけではなく、各種事業の開催につきましても、我がクラブと同様に県南7クラブ、本当に苦戦しているようでありました。我が西クラブの例会開催状況につきましても、一番お葬式があったのは、定款上休会扱いにはならないというふうな形で考えますと、2月の蔓延防止が発令された時に、一度だけ100%ズーム例会の準備で休会したのみで、皆様のご協力のもとに本当にまだ1回だけの休会という形で、他のクラブが数回休会する中で、かなり頑張っているということが少しアピールできたのかなと思っています。ということで、今年の大事業のIMが終わりまして、何故か私も、

会長が終わったような気がしてるんですけども、あと3ヶ月弱の会長の任期が残っていますので、気を引き締めて残り頑張っていきたいと思っています。さて、今回の例会は金田ガバナー補佐の卓話でございます。ガバナー補佐はIMで本当にお疲れかとは思いますが、せっかくですので私の卓話はここらへんでもう早々と切り上げて、IMの積もる話をじっくりと卓話でお聞かせ願いたいと思います。それでは、本日もよろしく願いいたします。ありがとうございます。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 福島民報社：医療法人佐原病院前理事長国際ロータリー第2530地区2001-02年度ガバナー佐原元氏追悼特集広告ご協賛のお願い
- 国際ロータリーマーケティング担当部：ブランドニュース2022年3月
- 白河市緑化推進委員会 会長 鈴木和夫：令和4年度「緑の募金」について
- (株)生駒時計店：生駒時計店ロータリーカタログ送付について
- 公財) 米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま265

■委員会報告

○会計

横田俊郎会員



皆さん、こんばんは。会計のほうから、お知らせいたします。4月は会費の口座引き落としの月になっております。今月は4月25日に、ご指定の口座のほうから引き落としさせていただきます。引き落としでない方はお振込等でお支払いのほう、よろしくお願いいたします。後ほど、事務局のほうからファックス等でご案内が届くと思いますので、ご確認のほうよろしく願いいたします。

■本日のプログラム

ガバナー補佐例会

○金田昇ガバナー補佐



皆さん、こんばんは。ガバナー補佐担当例会ということで、何をお話しようか迷いました。IMのお礼を中心にお話しするのがいいのかなというふうに思います。ガバナー補佐の命を受けまして、2年近くやってまいりました。実際のところ、今年度のスタートが7月1日から今までやったわけですが、あと2ヶ月ほど残っております。ただ、ガバナー補佐としての役目もほぼIMをしたことにより終了し、あとは残すところはお礼として各クラブを訪問したいなというふうな思いと、一年間の活動のレポート関係をしっかりガバナー事務所、また志賀ガバナーにお送りするというような作業が残っております。と同時に、今まで経験したことをきちんとまとめて、皆さんにお伝えしながら、クラブの活性化、また分区の8クラブ

の活性化に繋げていけるような最後締めくくりをして、次年度須賀川ぼたんロータリークラブの群部ガバナー補佐にお引渡ししたいと思っております。まずは、IMのお礼ですけど、鈴木和夫白河市長、高橋村長を含めて、沢山の来賓、また116名のメンバーの参加ということで、ガバナー月信をひもといってみますと、各分区でIMが開催されていますが、100名を超えるような開催は県南分区が初めてであります。これはやはり、西ロータリークラブ実行委員会の皆様が、熱意を込めて開催準備をなさってる姿が各クラブに伝わり、またその思いが数字となって表れたのかなというふうに思っております。全体を通しての運営は準備の段階が非常に難しかったです。やはり、感染対策ということもありまして、リモートでやるのか、それともハイブリッドでやるのか、対面でやるのかやらないのかということがありまして、本来3月6日の予定であったところを、1ヶ月ほど繰り延ばして開催することとしましたところ、良かったなというふうな結果であります。その中で、新会員セミナーを芳賀裕パストガバナー、研修リーダーをお願いいたしました。非常に素晴らしい資料をいただきまして、私が今まで新会員セミナー、またそういうふうなロータリーの基礎知識のセミナーを受けた資料の中では、非常に素晴らしいというか、今まで中では最高傑作といわれるような資料だったなというふうに思っております。画像をちょっと見せていただいでですね。通常、新会員セミナーというのですね、参加者去年は4~5名でしたかね。というふうな数だったんですね。今回は、10名程とオブザーバーとしてのご参加いただいた方もおりましたので、全部で20名程の参加で、新会員セミナーの会場も非常に良かったなというふうに思っています。これが「ロータリーの扉を開く」ということで、パストガバナーが作ってきた資料です。順次、ちょっとバラッとこう見ながら、ご存知のとおりポールハリスが100年前



に作ったロータリークラブの歴史を紐解きながらご説明いただきました。最初の綱領、それから基礎知識等々が列挙されております。会員の中でも、ロータリーとはなんぞやという思いが皆さんあると思うんですけども、私が見てももう一度勉強になるなというふうな資料です。この資料はデータとして持っていますし、芳賀パストガバナーがこれは使っていいよというふうなご許可をいただいておりますので、これからクラブ内での新会員セミナー、特にロータリー情報委員会のほうで活用していただければなというふうに思っております。それと今日、新会員セミナーに参加した会員で、十文字光伸会員のほうからその感想を3分間



スピーチということをお願いしております。十文字君のほうで参加した感想、お願いいたします。

スピーチということをお願いしております。十文字君のほうで参加した感想、お願いいたします。

○十文字光伸会員



皆様、こんばんは。今回、新会員セミナーに参加させていただきました十文字です。まずはじめに、ロータリークラブの歴史についてということを学びましたが、4人のオリジナルメンバーである、ポール・ハリス様、ハイラム・ショーレー様、シルベスター・シール様、ガスターバス・ローア様によって、1905年2月23日、シカゴのロータリークラブが創立されたことを学びました。また、当時の流行り言葉、「商売は情



け無用」「商売と友情は両立しない」というシカゴ社会の中で、親睦と友愛を大切にするロータリークラブができたということをお教

えていただきました。当時より、週に1回、昼食時または夕食時に会合を開いていたことが、100年を経た今でも引き継がれているということは、まさに驚きの一言でございました。続きまして、ロータリーの理念について、私は「超我の奉仕」という言葉を何度か聞いたことがありましたがいまいち理解していなくて、そのうちいずれなんとなくわかるのかなという感じで過ごしておりましたが、これには「最もよく奉仕する者もっとも多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づいているということをお教



を、わかりやすく説明していただきました。また、例会の大切さということで、例会は多様な会員と切磋琢磨し自分を磨き、他人への思いやり人助けの心を深める最大の機会と解説されており、事例といたしまして、1918年、スペイン風邪の世界的大流行の際に、アメリカ、カリフォルニア州バークレーロータリークラブの、ジョン・ヒンケル公園内にて例

会を開いていた様子等もご紹介いただきました。こちらは東日本大震災時に、おにぎりを食べながら例会を開いたというお話や、現在コロナ禍の中でのハイブリッド例会等、例会を開催、そして参加することの大切さということをお教

えていただいたと思います。本当に1時間という時間はあっという間でありましたが、ロータリークラブの歴史、理念や目的を深く掘り下げて学べた機会だったのかなと思います。また、次回もこのようなセミナーがありましたら積極的に参加致しまして、今後の活動にうまく活用して行きたいと考えております。簡単ではございますが、セミナー参加のご報告を申し上げます。ありがとうございました。

○金田昇ガバナー補佐

十文字さん、ありがとうございました。今写ってるのが、IMの新会員セミナーの時の芳賀裕パストガバナーの姿であります。1時間



ほどでありましたが、この後会長幹事会を挟みましてIMが開催される運びとなりました。鈴木和夫市長、高橋村長も含めまして、開催されました。市長から言われたのが、このテーマが素晴らしいというようなお話をさせていただきました。テーマについて、やっぱり持続可能などという今一番大切な言葉をお褒めいただきましたし、また役所も含めていろんな連携を取っていけることになるのかなというふうに思っております。あと司会進行、非常にスムーズにやっていただきましたし、式典も厳かにしっかりできたのかなというふうに思っております。スライドを見ながら思い出していただきたいなと思いますし、ご参加できなかった皆様はスライドを見ながら、こんなんだったんだなという感想を持っていただけるとありがたいなというふうに思っております。今回のIMの一番大きなテーマなんですけども「森は海の恋人」と題しまして、畠山先生にご講演をいただきました。内容が非常に素晴らしい内容でありました。内容につきましてはまた後ほど



きちんとした報告書、報告映像を作って、皆さんにお配りしたいなと思います。この映像が「森は海の恋人」であるということの、源流から流れるミネラル分と鉄が必要なんだよというふうなところをご説明する映像であります。畠山先生のお話は、時間が短くてとても残念だったなという思いがあります。これほど皆さんがご興味を持っていただけたとは思いませんでしたので、非常に高評価というか高い評価をいただきまして、是非もう一度聞きたいという方も沢山いらっしゃいました。何かの機会がありましたら、また機会を作って先生をお呼びしてお話を伺いたと思いますが、先生からは気仙沼に来てくださいというお話もいただきましたので、有志を募って行ってみたいと思いますし、媒介公開というのもありますし、ツーリングの目的を気仙沼で牡蠣を食べるなんていうのもやってみたいというふうに思っておりますので、会長よろしくお願いたします。非常に学んだことは、世界中の海の豊かさは森の豊かさが大切なんだということ、基本的に学ぶことができました。先生におかれましては、新幹線が開通してなかったので電車を乗り継いで来ていただいたそうで、懇親会まで参加していただけてとても残念でしたが、またお会いすることをお約束できました。当日、参加された会員また区分内の会員皆様に先生の書籍をプレゼントすることとなりました。皆さんが読んでいただいて、皆さんの中にもお手元に届くと思いますので、是非お時間のある時に

手元に置いて読んでいただくと、森と海の大切さを実感していただけたのかなと思います。ありがとうございました。最後に、懇親会に移ったわけですが



ども、懇親会のオープニングコンサートというのを企画させていただきました。実は、私の知り合いの方で遠藤美歩さんという西郷村在住のチェロを弾く方です。「コミネス」のオーケストラのチェリストでもあり、現在はチェロの講師をやったりしております。選曲で曲をどんな曲を弾きますかということをお願いされたので、3曲ほどお願いしました。チェロの一番有名な曲であります、バッハの無伴奏チェロ組曲第1番というのを一つ引いていただきました。これはいかにもチェロだなというふうな音楽であります。2番目に弾いたのが「鳥の歌」という曲で、パブロ・カザロスという今世紀最大のチェリストという方が、スペインのカタルーニャ地方の民謡の「鳥の歌」というのをチェロ風に編曲したものです。この方は1971年、94歳の時に国連の総会でこの曲を弾いてます。世界が平和になりますようにということで、カタルーニャ地方の鳥はピースピースと鳴くんですということで、涙を誘うようなことが行われました。多分、ご年配の方は1971年の、国連の総会で音楽を奏でるといのは滅多にないことなんです、それをやったということで、96歳の天寿を全うするまで世界の平和の為にチェロを引いたという方の代表的な曲だったので、是非これは今のウクライナの問題も含めて聴いていただきたいなということで選曲させていただきました。その後は、ちょっと明るい曲ですが3曲程弾いていただきまして、西ロータリークラブらしい文化に溢れたオープニングで、皆様をお迎えできたのかなということで良かったなという感想があります。また次回、何かありましたら、こういうふうなことを企画していただけたら、ありがたいなというふうに思っております。それと同時に、懇親会はアルコール抜きではありましたが、エキシブの料理長の思い入れの出るような料理を振舞っていただきました。本来アルコールも含めて懇親を深めていきかけたのですが、ギリギリ食事だけでもということでパーティーをしっかり作っていただき、席間の移動をしないということを条件に食事をさせていただきました。皆さん楽しんでいただけたのかなというふうに思いますし、その後、いろいろなお電話で感想等々いただきました。美味しかったよとか、楽しかったよっていうふうなお電話やメールや、そういうふうなことも沢山ありましたので、ご報告させていただきます。いずれにしても、IMの開催は難しい問題でありました。しかし、8クラブ会長さんすべてが、対面でやることに同意していただき、また多くの方に参加していただけたことは、とても嬉しいことでありました。また、会長からもお話ありました、次年度は須賀川で開催されるわけですが、ほたんクラブはクラブ自体が小さいクラブですので、なかなか今回のような開催は難

しいと思いますが、それなりの特色のあるぼたんクラブらしいIMを開催していただけるのかなというふうに思います。インターシティミーティングの本来の目的であります、区内、地区内の交流と知識を高め、情報交換をし、親睦を高めていくということを目的としてIMは開催されるわけですが、その目的が一定程度達成できたのかなというふうな思いであります。次回、また周年事業とか、いろんなの含めましてこういう機会があれば、また実行委員会、白河西ロータリークラブの持てる力を存分に発揮し、会の隆盛というか懇親を深められるような達成感のあるようなクラブの運営に役立てていただけるのかなというふうに思いますし、楽しみにしております。翌日は、交流ゴルフコンペが同場所で開催されました。参加者11組ということで、44名だったんですけど1名欠席だったので、43名の沢山の方に参加していただきました。非常に暖かくて真夏を思わせるような天候で、私も途中2回ぐらい日焼け止めを塗るような場面もあったわけですけども。グランディらしい素晴らしい天候とコンディションで開催することができました。参加者の方々もみんな楽しんでいただけたのかなと思います。私個人としては、クラブ持つのは3年ぶりです。1週間前に、練習場にちょっと行って練習したくらいだったんですけども、実際130とか120とかスコアがガチャガチャになるのかなというふうな思いだったんですけど、皆様の晴れやかな顔を見ながら気分も大らかになったせいか、スコアもまずまず100くらいで上がることができましたし、減多にないことですけどバーディ2個も取りましたし、何より43名参加して21位という、ちょうど真んくらいの順位という、可もなく不可もなくというふうな順位が取れました。運営していただいた成井委員長はじめ、ゴルフ愛好会の皆様に感謝を申し上げます。後ほど、ゴルフ愛好会のほうで表彰式、ダブルコンペでしたので表彰式があると思いますので、そちらを楽しみにしていただければなというふうに思います。私から流れとして、うまく話できなかったんですけど、去年準備してきたこと、それからガバナー補佐としての一番大きな役目です。インターシティミーティングが、実際の対面でしっかり行えたこと、それと参加者がそれなりに満足していただけたんじゃないかなということが、私にとっての一番の喜びでありますし、達成感であります。ただ、よくガバナー補佐がと言うんですけども、決してIMというのはガバナー補佐がやるものでもないですし、担当のクラブがここですと8年に1回ですが持ち回りでそのクラブの8年の成果だったり、これからの方向性だったりを出せるイベントなのかなというふうに思います。そういう意味では、白河西ロータリークラブの結束と底力とまた知識と、そういうものがおおいに発揮されたIMだったなというふうに思っております。最後になりますが、ご協力いただいた会員の皆様に感謝を申し上げますと同時に、県南8クラブ234有余名のロータリアンの方達と友情に感謝を申し上げて、IMの報告と感謝とさせていただきます。ありがとうございました。

■ゴルフコンペの表彰式

○ゴルフ愛好会

成井正之会長



皆さん、改めておぼんでございます。先日の交流コンペには、多数の皆さんご参加いただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで持ちまして、良い天候の中楽しいゴルフができたんじゃないかなと思っております。それで今日は、うちのクラブのダブルコンペの表彰もこれから行いたいと思っておりますが、その前に先日のコンペの収支決算だけ報告をさせていただきます。収入総額が225,000円。そして、支出が219,726円でありました。そして今日、写真代と思って取って取って取って取って、渡部さんの方から少し安くしていただきまして、残額が5,274円だったんですけど、4,000円にさせていただいたので1,274円が余りました。それはスマイルさせていただきましたので、それで決算は済んだということでご報告させていただきます。それでは、表彰式に入りたいと思いますので、司会のほう運天さん、お願いします。



○司会

運天直人会員



それでは、表彰式に入らせていただきます。ゴルフ愛好会、副会長の運天と申します。どうぞよろしくお願いたします。今回、ダブルコンペということで、優勝、準優勝、3位、あととび賞、あとブービーメーカーということで、賞を用意させていただいておりますので、呼ばれた方は前に来ていただいて、会長のほうから授与していただければと思います。それでは第5位から発表させていただきます。第5位は前原会員でございます。第10位、宮本会員。次に15位、堀田会員。20位永野会員です。それでは続きまして、ブービーは鶴丸会員でございます。続きまして、ブービーメーカーのほうは吉成会員でございます。ダブルコンペですので、アトラクション等々はIMのコンペとさせていただきましたので、今回のコンペではアトラクションなしということで。残りは3位、準優勝、優勝ということになっております。それでは、3位、イースト40サウス45グロス85ハンディキャップ8ネット77で青木大君。それでは続きまして準優勝、イ



スト48サウス44グロス92
ハンディキャップ19ネット
73、車田裕介君。それで
優勝ですが、イースト
42サウス43グロス85ハン
ディキャップ18でネット
67で、佐藤幸彦会員。ち



なみに、佐藤幸彦会員におきましてはIMのコンペでも準優勝しております。おめでとうございます。以上で、表彰式は終わりますが、ここでハンディキャップの改正までお知らせさせていただきます。優勝の佐藤会員ですが、ただいま18ハンディキャップがありましたので、アンダーカットして2割カット、ということで次回はハンディを10ということをお願いします。準優勝の車田会員も、1割カットということで17ということ、よろしく願いいたします。もう一度、コンペは今年度中にあると思いますが、また多数のご参加どうぞよろしく願います。

▼白河西RCゴルフコンペ

(4月10日(日) グランディ那須白河ゴルフクラブ)

優勝：佐藤幸彦	第12位：安部和夫
準優勝：車田裕介	第13位：吉野敬之
第3位：青木大	第14位：成井正之
第4位：運天直人	第15位：堀田一彦
第5位：前原俊治	第16位：金田昇
第6位：十文字光伸	第17位：須藤正樹
第7位：齋藤孝弘	第18位：鈴木孝幸
第8位：吉田充	第19位：横田俊郎
第9位：高畠裕	第20位：永野文雄
第10位：宮本多可夫	第21位：鶴丸彰紀
第11位：居川孝男	第22位：吉成真五郎

○インターシティミーティング副実行委員長 居川孝男会員



改めまして、おぼんでございます。本来であれば、吉田充実行委員長が皆様方に御礼の言葉を述べる席ではございますが、実行委員長本日お休みということで、代わりに副実行委員長を務めさせてもらった居川のほうから御礼を申し上げます。まず、金田県南分区のリーダーのもと本来であれば3月に開催するということが、実行委員会も3月に向けて着々と進めたわけですが、コロナのほうで2月なかなか落ち着きが出てこないということで、4月に1ヶ月延ばそうという大英断をしたところ、本当に3月に蔓延防止法が解除になりましたので、4月に開催できたということで、これは本当にクラブの意思と皆様方のご協力の賜物というふうにおもっております。また、無事開催するにあたり実行委員会も6回くらいやったのかなと思っています。去年の35周年記念式典より、もっと密に計画したのかなと。35周年はコロナもあるかなという安心感もあったものですが、そういう意味では本当に皆さん方にお世話になりました。特に今回、吉野幹事、そして吉野堀田ラインの強力なサポートもございま

したので、滞りなくできたのかなと思っております。もし、この次当クラブからガバナーが出たとしても、今日のような経験をしておくことによって、力強いご支援はできるのかなというふうにつくづく思ったところなので、ガバナーに出たい人は是非出ただけければ、強力なバックアップ体制をひいていけるかなと思っております。また、鈴木会長、須藤幹事も積極的にご協力賜り、やはり主観クラブの会長幹事がいることによって、無事できたのかなと思いと共、今回は司会者に異例の若手女優二人を抜擢したというのなかなかまた良い企画だったかなと。それと、諸橋・阿部君率いるIT委員会が前面に出て、インターネット回線で流していただいて、遠く米沢の地からも参加いただいたとお聞きします。また、コザロータリーと深谷ノースロータリークラブの皆さんもお見えになって、実は式典の夜、食事会というふうな形で終わった後、根本会員のお店のほうでアルコール入りの懇親会をさせていただいて随分喜んで、次の日はコザさんは藤田記念館ですか、先ほど会報を見てたら僕たちがみんなでゴルフをやっているところ、藤田記念館に行って、なんか藤田龍文さんのお父さんの写真も映ったような気がしたので、久しく藤田龍文さんのお父さんがコザと築いた歴史なんかもふみとかれるのかなと思っております。そういう意味ではいろいろな部分で皆様方のご協力があったのかなというふうに感じるところでございます。吉田充実行委員長に代わりまして、皆様方にIM大成功にご協力いただいたことに感謝申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。本当に皆さん、ご協力どうもありがとうございました。

○インターシティミーティング副実行委員長 中目公英会員



皆さん、こんばんは。今、居川副実行委員長が喋るべき事みんな喋っていただきましたから、私が喋るぶん何も残っておりません。まずは、皆様方にお詫びを申し上げます。3月の開催は全然問題なかったのですが、4月の9日の土曜日、大安で一気に桜の花が咲いて、もう南湖しっちゃかめっちゃかだったもんですから、すみません、一度中抜けさせていただいて、神社のほうの仕事をしてやっと戻ってまいりました。その点では、副実行委員長失格だと自分でも思っておりますけれども、居川副実行委員長が喋ったように、内容そのものは本当に立派なIMであったと思います。すべて金田昇ガバナー補佐が微にいり細に入りちゃんとチェックをし、目を光らせていただいておりますので、このようなことができたと思っております。残すところ、金田ガバナー補佐やり残したことがあったら、是非今のうちからお声をかけていただければ、この3か月間の間にまた吉田充実行委員長、そして私たち副実行委員長が、音頭を合わせて取りまして、もう一花咲かせてみたいとも思っておりますので、今後ともひとつどうぞよろしくお願いいたします。簡単ではありますが、喋るべき内容は居川先生がみんな喋ったので、内容は右に同じでありました。皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。